

藤沢市と廃食用油の資源化促進に関する連携及び協力に関する協定締結について

2026年2月5日
藤沢市長定例記者会見



SAF(Sustainable Aviation Fuel)とは

報道機関向け資料

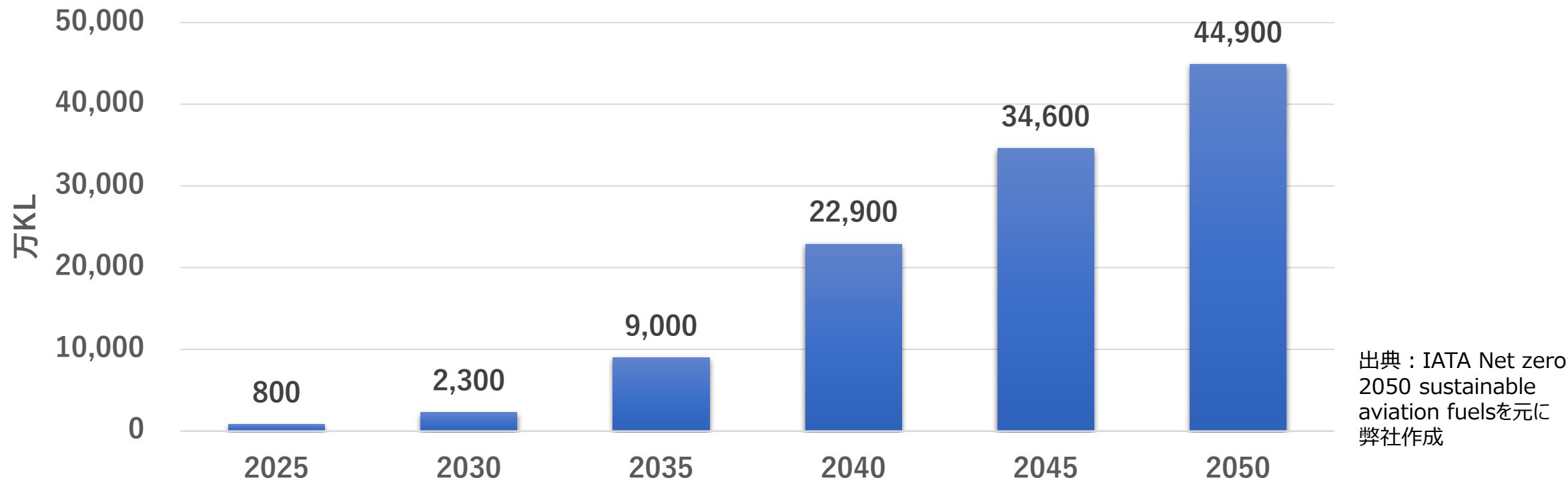
 SAFFAIRE
SKY ENERGY

- 化石燃料以外を原料とする持続可能な航空燃料
- 様々な原料・製造技術が存在
- 従来の航空燃料と比べてライフサイクルでCO₂排出量を大幅に削減
- 既存のインフラ（航空機、貯蔵・給油設備など）が使用可能
- 中大型の航空機にはSAFが不可欠



SAFの原料の例

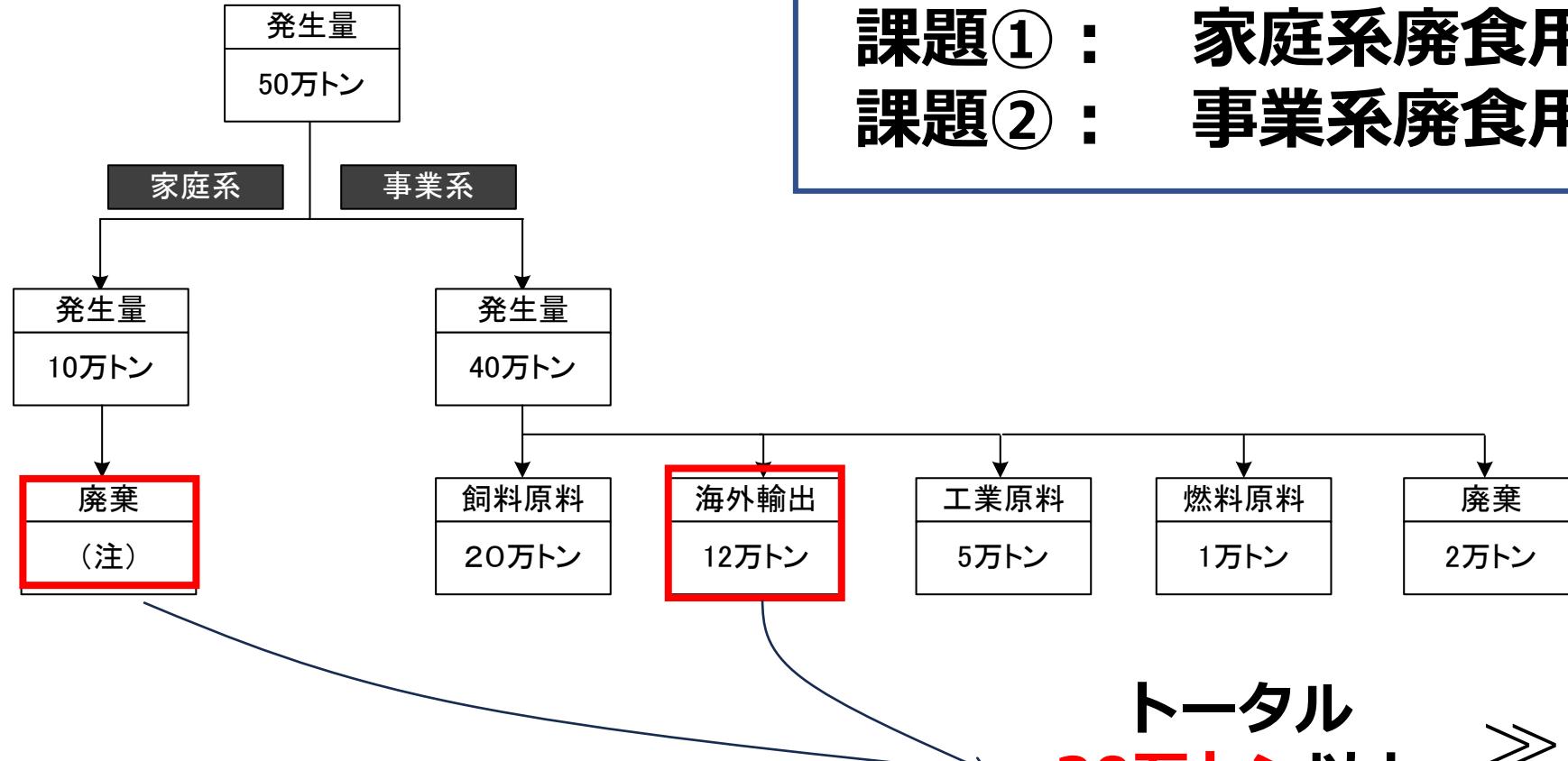
- SAFは航空セクターの脱炭素で中心的役割。世界各国で需要が高まっている
- EUは2025年よりSAFの供給義務化がスタート
- 日本政府も2030年に国内SAF10%供給の目標を設定
- 2022年時点の世界のSAF供給量は約30万KLとされ、需給ギャップが非常に大きい





- 2021年、NEDOの助成事業に「国産廃食用油を原料とするSAF製造サプライチェーンモデルの構築」事業として採択
- 上記3社共同出資にて国産SAFの製造事業会社「SAFFAIRE SKY ENERGY (サファイアスカイエナジー)」を設立





課題①：家庭系廃食用油の資源化
課題②：事業系廃食用油の国内資源循環

注：9割以上は廃棄されていると言われている

トータル
20万トン以上 >> サファイアプロジェクト
の必要量 **3万トン**



FRY of FLY Project

Fry to Fly Projectとは
日揮ホールディングスが提唱、事務局を務める廃食用油（資源循環）でSAFを製造（脱炭素化）を実現するプロジェクト（参加団体数294）

Fry to Fly Project (2026年1月末時点294団体)





1

藤沢市

- ・【家庭】市民の方から家庭ごみとして廃食用油を回収し、SAF向けに提供
- ・【その他】SAFに関する資源循環の取組について、積極的に情報発信

2

レボインター・ナショナル

排出される廃食用油を収集し大阪府のSAF製造プラントへ運搬

3

SAFFAIRE SKY ENERGY

廃食用油を原料としてSAFを製造

4

日揮ホールディングス

プロジェクト主導

JGC

プロジェクト主導



家庭



Fujisawa City Office
藤沢市



処理施設



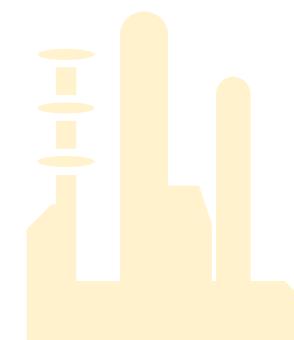
廃食用油引取・輸送



環境価値を重視する
インバウンドニーズに対応



各航空会社



SAF製造

